

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	二戸市社会福祉協議会 発達支援センター風		
○保護者評価実施期間		2024年11月1日	～ 2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38 (回答者数)	23
○従業者評価実施期間		2024年12月20日	～ 2025年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	圏域の他の放課後デイサービスにはないホールがあり、建物の周りは車道から離れているため、子ども達が鬼ごっこなど思う存分身体を動かして遊べること 建物の周りの自然のなかで、子どもらしい外遊びができる環境	・積極的に外遊びを取り入れている ・身体を動かして遊ぶ時間とクールダウンの時間を設けること	様々な遊び方を提供し、子ども達が発展させ満足するまで遊び、遊びの中で感覚統合を行うこと
2	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等を持っている	ペアレントトレーニングは、当事業所が早い時期から取り入れ、児童発達支援事業の時期から保護者へ取り組んでもらい、より良い親子関係の形成を支援している 療育に通ってきた際に保護者が記入する様子記入票には、ペアレントトレーニングの取り組みを記載する部分も入れている	ペアレントトレーニングの保護者学習会の回数を増やしていきたい

3		
---	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の活動プログラムの内容や内容の意図が保護者に伝わっていない	活動内容についての説明ができていないグループがある また、保護者説明の際の伝え方に工夫が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容・ねらいや意図を通信などを利用して明確に伝えたり、保護者説明の際にねらいに関わる資料を配布したり、伝え方の工夫をする ・保護者学習会の内容に取り入れる
2	非常災害の訓練の様子、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を発信しているが、保護者に上手く伝わっていない	通信に載せているが、保護者にとって印象に残りにくいのではないか	通信の記載方法を変更する または、通信とは別にお手紙を作成したり、オリエンテーションや保護者説明の際に口頭で伝える
3	防犯対策マニュアルの作成	以前防犯の訓練も行ったが、人の往来が少ないこともあり防犯に対する意識が薄い	防犯対策マニュアルを作成し、保護者の見やすい場所に設置する